

M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

PAC-SG98MA

このM-NET接続用アダプタは、右記機種に対応しています。
取付け方法は機種により異なりますので、右記のとおり作業を行ってください。

本体形名	作業要領
PU(H)-J40~160(S)GA PU(H)-P40~160(S)GA PUHB-4,5GA	4ページ
MPU(H)-P40~56(S)HA(2)	
MPU(H)-P63~160HA(2)	5ページ
PU(H)-J125~160FA	6ページ

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 改造は、絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。
- お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取付ける。
●端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、ほこり・水等により、感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。

電気工事をする前に



注意

- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
●漏電遮断機が取付けられていないと感電の原因になります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災等の原因になります。
- 電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。また、途中接続は絶対に行わないこと。
●断線したり、発熱・火災等の原因になります。

- アース工事を行う。
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー(漏電遮断機・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線用遮断器)を使用する。
●大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。

試運転をする前に

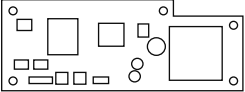
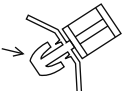

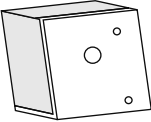


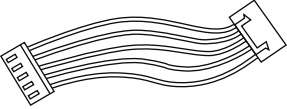
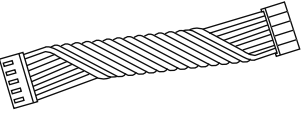
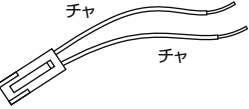
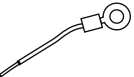
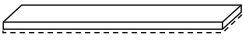


注意

- 運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
●電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。
- パネルやガードを外した状態で運転をしない。
●機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルタを外したまま運転をしない。
●内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
●感電の原因になります。
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。
●運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
●必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になります。

1. 部品一覧

No.	品名	形状	機種と使用数量				備考
			PUH J/P GA	PUH J/F A	PUH B/H A	MU H/F H/A E	
①	M-NET基板 (絶縁シート、サポート付)		1	1	1	1	⚠ 基板の取扱い時には、 静電気対策を行ってください。 部品が壊れることがあります。
②	サポート・スペーサ (基板取付足)		1	1	1	1	矢印の部分を電気品箱の 板金穴に差し込んでください。
③	端子盤		1	1	1	1	
④	端子盤取付ネジ (M3×20)		1	1	1	1	
⑤	端子盤取付台 (板金)		1		1	1 40~56 のみ使用	
⑥	取付ネジ (M4×10)		1		1	1 40~56 のみ使用	
⑦	端子盤用シール		1	1	1	1	
⑧	リード線 室外基板-M-NET基板 接続 (5線)		1	1		1	
⑨	リード線 室外基板-M-NET基板 接続 (5線)				1		
⑩	リード線(アカ/シロ) 電源		1	1	1	1	
⑪	リード線(チャ) M-NET		1	1	1	1	
⑫	アース線・ネジ(M4×10)		各1	各1	各1	各1	据付工事説明書を参照のうえ、 必要に応じて使用してください。
⑬	結束バンド		2	2	2	2	
⑭	インスレーション					1 63~160 のみ使用	

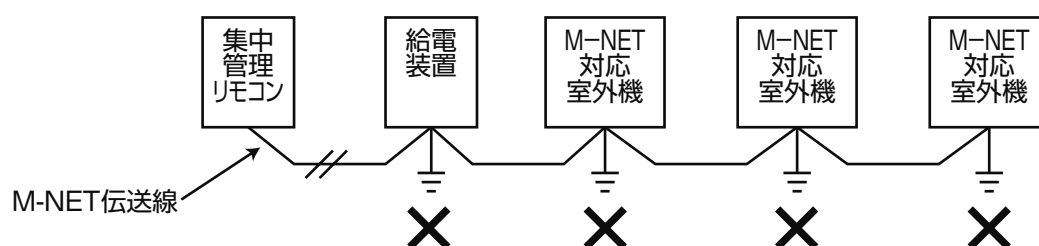
⚠ 注意

M-NET伝送線のシールド線の接続する機器のいずれか1ヶ所に限りアース線を接続してください。

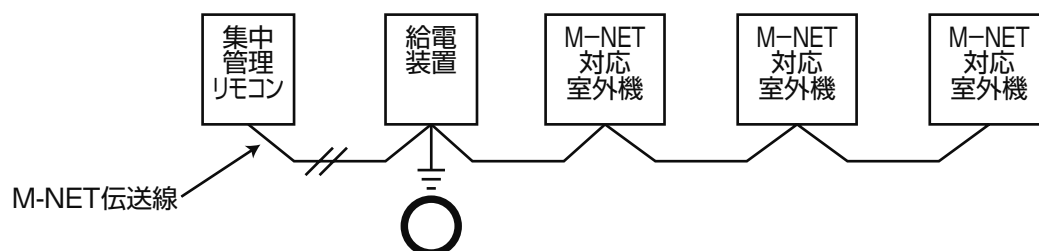
- ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。

室外機デジタル表示LEDに「Ed」エラー
集中管理リモコンに「0403」エラー

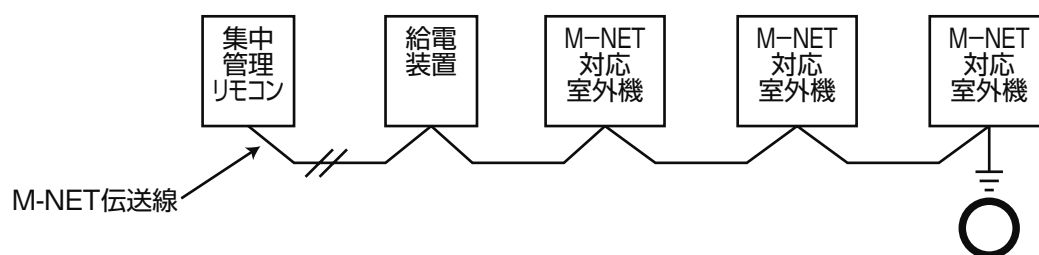
×悪い例(シールド線の多点アース)



○良い例1(シールド線の1点アース)



○良い例2(シールド線の1点アース)



シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンスの差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。ノイズによる通信異常を防止するためにも、据付工事説明書に記載されている1点アースを守るようお願いいたします。

2. 電気品箱への取付け

本体形名

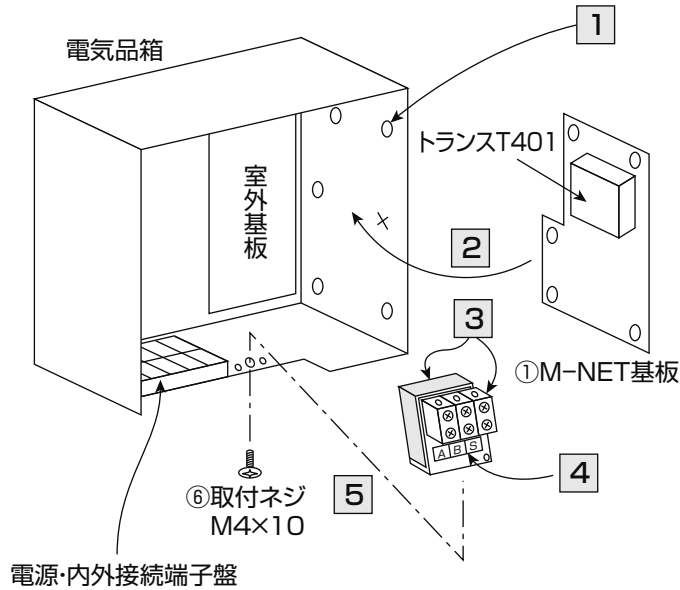
PU(H)-J40~160(S)GA

PUHB-4,5GA

PU(H)-P40~160(S)GA

MPU(H)-P40~56(S)HA(2)

の場合



1 基板サポートの取付け

②サポート・スペーサを電気品箱内側より取付けてください。

×印-②サポート・スペーサ目印 ← こちら側を電気品箱の穴に取付けてください。

2 M-NET基板の取付け

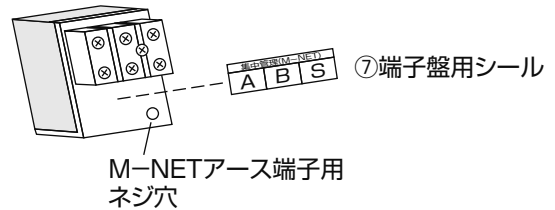
①M-NET基板を取付けてください。

〈注〉●トランスT401が上側になる様にと取付けてください。

●基板取扱い時には、静電気対策を行ってください。

4 端子盤シールの貼り付け

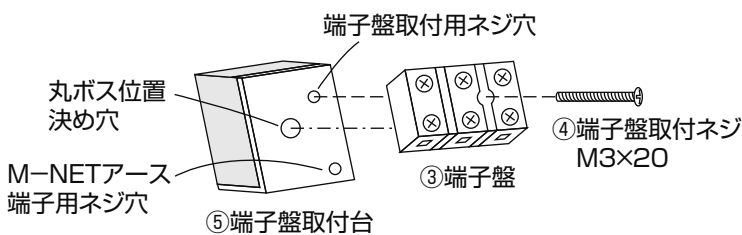
⑦端子盤用シールを貼り付けてください。



〈注〉⑦端子盤用シールは、M-NETアース端子用ネジ穴をふさがないように貼り付けてください。

3 端子盤を取付け台へネジ止め

⑤端子盤取付台に③端子盤を取付けてください。③端子盤には、位置決めの丸ボスがありますので、丸ボスを⑤端子盤取付台の位置決め穴に差し込んでください。



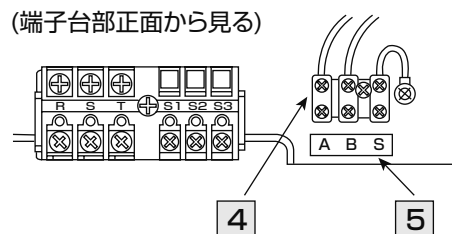
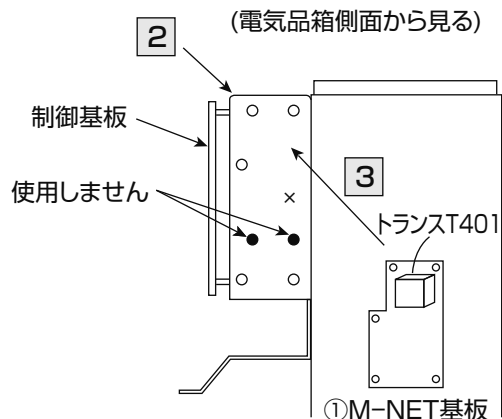
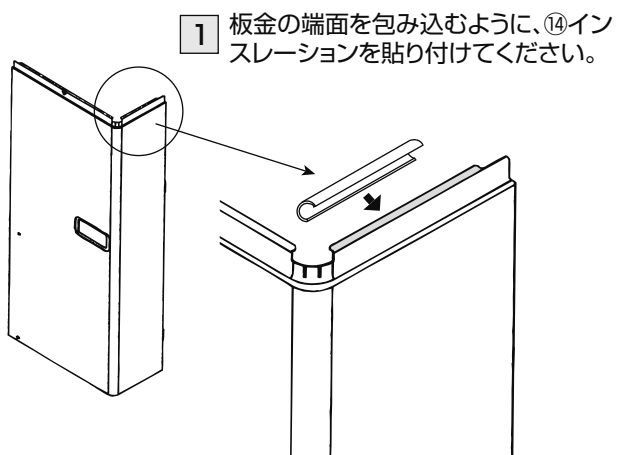
5 電気品箱への端子盤取付け

端子盤取付台を⑥取付ネジM4×10を使って取付けてください。

以後⑦ページ「3.室外基板とM-NET基板の配線」にお進みください。

2. 電気品箱への取付け

本体形名
MPU(H)-P63~160HA(2) の場合



1 パネル板金へのインスレーション貼り付け

M-NET基板に接続する配線を板金部品のエッジから保護するため、パネル板金の端面に⑭インスレーションを貼り付けてください。

4 端子盤を電気品箱へネジ止め

③端子盤を④ネジ(M3×20)で取付けてください。
※③端子盤には、位置決めの丸ボスがあります。
丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

2 基板サポートの取付け

②サポート・スペーサを電気品箱側面より取付けてください。

×印-②サポート・スペーサ目印 ← こちら側を電気品箱の
●印-使用しません 穴に取付けてください。

5 端子盤シールの貼り付け

⑦端子盤用シールを貼り付けてください。

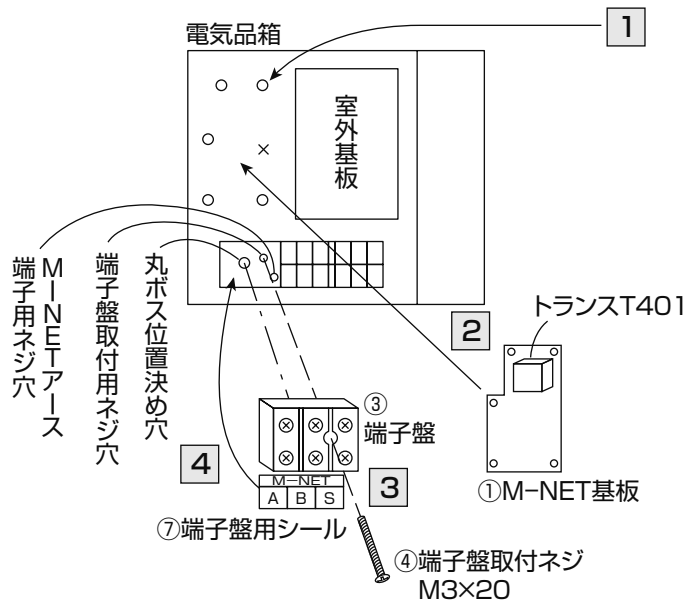
3 M-NET基板の取付け

①M-NET基板を取付けてください。
〈注〉●トランスT401が上側になる様に取付けてください。
●基板取扱い時には、静電気対策を行ってください。

以後⑦ページ「3.室外基板とM-NET基板の配線」にお進みください。

2. 電気品箱への取付け

本体形名
PU(H)-J125~160FA の場合



1 基板サポートの取付け

②サポート・スペーサを電気品箱内側より取付けてください。

×印-②サポート・スペーサ ← こちら側を電気品箱の
穴に取付けてください。

2 M-NET基板の取付け

①M-NET基板を取付けてください。

〈注〉●トランスT401が上側になる様にと取付けてください。
●基板取扱い時には、静電気対策を行ってください。

3 端子盤を電気品箱へネジ止め

電気品箱内の端子盤取付台に③端子盤を取付けてください。
③端子盤には、位置決めの丸ボスがありますので、丸ボスを位置
決め穴に差し込んでください。(上図参照)

〈注〉PU(H)-J・FAの場合、⑤端子盤取付台、および⑥取付ネジ
は使用しません。電気品箱内の端子台に、直接③端子盤を
取付けてください。

4 端子盤シールの貼り付け

電気品箱内の端子台に⑦端子盤用シールを貼り付けてください。
(③端子盤下の板金部分)

〈注〉⑦端子盤用シールは、M-NETアース端子用ネジ穴を
ふさがないように貼り付けてください。

以後7ページ「3.室外基板とM-NET基板の配線」に
お進みください。

3. 室外基板とM-NET基板の配線

1 室外基板とM-NET基板のコネクタCN5の配線

室外基板のコネクタと①M-NET基板のコネクタCN5(シロ)を⑧リード線または⑨リード線にて結線してください。

※室外基板のコネクタ名称と使用リード線は下表を参照してください。

本体形名	室外コネクタ名称	使用リード線
PU(H)-J40~160(S)GA	CN1	⑧
PU(H)-J125~160FA	CN1	⑧
PUHB-GA	CNMNT	⑨
PU(H)-P40~160(S)GA	CNMNT	⑧
MPU(H)-P40~56(S)HA(2)	CNMNT	⑧
MPU(H)-P63~160HA(2)	CNMNT	⑧

お願い コネクタは確実に差し込んでください。

2 M-NET基板のコネクタCNDと電源端子盤の配線

①M-NET基板のコネクタCND(アカ)と電源・内外接続端子盤のR・Sを⑩リード線にて結線してください。

お願い

- コネクタは確実に差し込んでください。
- 端子盤のネジゆるみが無きよう、確実に結線してください。
- アカのリード線はR端子へ、シロのリード線はS端子へ接続してください。

3 M-NET基板のコネクタCN2MとM-NET端子盤の配線

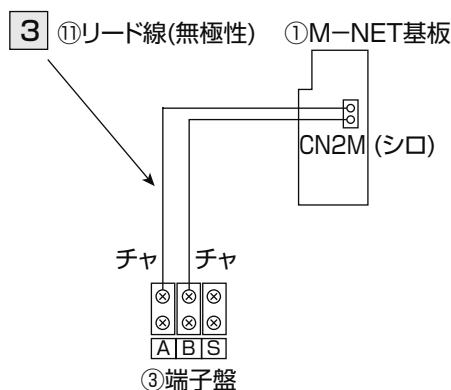
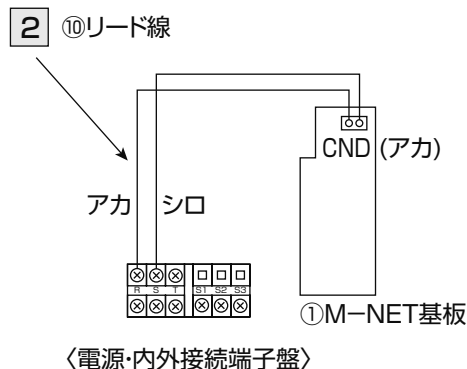
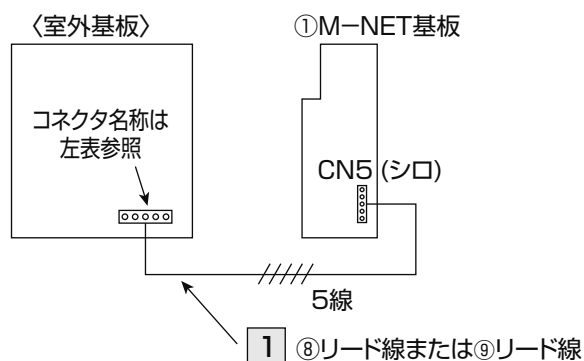
①M-NET基板のコネクタCN2M(シロ)と③端子盤のA・Bを⑪リード線にて結線してください。

お願い

- コネクタは確実に差し込んでください。
- 端子盤のネジゆるみが無きよう、確実に結線してください。
- ⑪リード線と③端子盤の配線は無極性です。

4 リード線の処理

結線後のリード線は、たるみの無きように⑬結束バンドにて他のリード線とともに束ねてください。



4. M-NET基板へのアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチSW11(1の位)、SW12(10の位)にて行ってください。M-NETアドレスは、01~50の範囲で設定してください。

※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっています。

お願い

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

注意

M-NETアドレスは必ず01~50の範囲で設定してください。※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。

また01~50以外に設定した場合もエラーとなることがあります。(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外機が接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)

〈設定例〉

